

芦屋市議会議員

大原ゆうき



<http://oohara-yuuki.jp>



大原 裕貴



@ooharayuuki



平成30年6月定例会特集

一般質問①

創業支援強化による人口流入促進について

背景

1) 芦屋市の高い高齢化率

芦屋市発行の『第8次 すこやか長寿プラン21』によると、芦屋市の高齢化率および後期高齢化率は兵庫県平均、全国平均よりも高い数値で推移している。

2) 人口流出のリスク

Resas『人口増減マップ』によると、2014年までは社会増減数(転入数と転出数の差)は増加傾向にあったが、2015年からは減少傾向に転じている。

3) 芦屋市の魅力は近隣他市と比較して突出したものではない

芦屋市の最大の特徴である「優れた住環境」は、阪神間の近隣市においても共通した魅力。芦屋市が突出した魅力を強化しないと人口流入には繋がらない。

4) 高い創業比率

Resas『企業活動マップー企業情報マップー創業比率マップ』によると、芦屋市の創業比率は兵庫県下で一位。既に芦屋に魅力を感じている層に対して人口流入を促す方が効果が高い。

概要

1) 以下の施策を実施することで創業支援を強化し、人口流入を促すことはできないか？

○ インキュベーション施設の常設

創業前後の支援を実施する施設。困った時に頼れる場所を設け、支援体制を構築する。

○ 市内に点在する空き家を活用した住宅支援

売上・収入が安定しない起業直後の金銭的不安を解消する。

答弁

1) 創業支援について

創業時の支援は、今年度芦屋市商工会館1階をコワーキングスペースとして改修し、経営指導や事業者同士の交流の機会、情報提供を行う創業経営継続支援事業を芦屋市商工会と共同して実施する。

2) 住宅支援について

戸建や共同住宅の空き家を住宅・事務所・地域交流拠点として活用する方を対象とした改修費用の一部助成制度を創設する。起業を目指す方にもご利用いただくと考えている。

一般質問②

介護予防について

背景

1) 芦屋市の高い高齢化率

元気な高齢者が増えれば、高齢者の経験やスキル、ノウハウを享受できる。
医療費や介護保険費の抑制にも繋がるので、高齢化率が高いと言う弱みを強みに変えられる。

概要

1) 介護予防・通いの場づくり事業の強化について

- 周知強化により、市内の通いの場を増やせないか。
- 長期運営の支障となる部分を解消することはできないか。

2) セカンドライフのサポート強化について

- 高齢者が高齢者のセカンドキャリアを支援する仕組みを構築できないか。
最前線で働いてきた高齢者が引き続き前線で働けるセカンドキャリアを構築し、
高齢者の生きがいの機会を創出する。

3) 高齢者世代の恋愛サポートについて

- 独居高齢者にパートナーを見つけてもらい、生きがいを創出してもらうことはできないか。
異性への感情は、例え高齢者になったとしても、強烈な生きがいとなる。

答弁

1) 介護予防・通いの場づくり事業について

昨年度から始まった事業であり、更なる周知に努めていく。通いの場は、市が主催する行事や公共的団体に該当しないため、集会所の利用料金の全額免除の対象にはならないが、地域交流スペースを開放している福祉施設を案内するなど、継続的な運営を支援していく。広報については、ホームページへの掲載に加え、広報あしや臨時号や広報番組での紹介、敬老会等のイベントでのチラシの配布など、更なる支援に努めていく。

2) 高齢者の生きがいづくりについて

老人クラブ連合会などの関係団体のご協力のもと、趣味活動、就労、生涯学習、交流の場づくりなどを進めており、誰もが生きる喜びを享受できる活力ある超高齢社会の実現を目指す取り組みに加え、シルバー人材センターのはつらつコールや、総合事業における生活支援型訪問サービスなど、高齢者が支援の担い手になる取り組みも進めている。

3) 高齢者世帯の恋愛サポートについて

高齢者の社会参加と生きがいづくりなどの事業が出会いの場の創設に繋がると考えている。しかし、シルバー人材センターや老人クラブと話をする機会の中で提案することは可能なので、提案する。

大原ゆうき プロフィール

- 昭和59年(1984年)2月8日 芦屋生まれ(34歳)
- シドニー日本人学校、関西学院中学部、関西学院高等部を経て
関西学院大学経済学部を卒業。
卒業後は民間企業でシステムエンジニアとして勤務。
- 平成27年4月26日の統一地方選にて2793票ものご期待を頂戴し、初当選。

ブログ更新中!

議会活動の透明化のため、日々の活動などを更新し、情報公開力アップに努めています!

<http://oohara-yuuki.blog.jp/>

